

香川紀恵 かがわのりえ コレペティートル

神奈川県出身。国立音楽大学教育音楽学科類卒業。

卒業直後からイタリア人オペラ指揮者セルジョ・ソッシ氏に出会い、ソッシ氏よりオペラの制作、オペラ歌手の育成に「コレペティートル」が不可欠であることを聞き、ソッシ氏に師事してコレペティートルを目指す決意をした。ソッシ氏が亡くなるまでの約25年間、指導を受けながらアシスタントもつとめる中で、ソッシ氏が初心者からプロまで、相手の問題点を即座に把握して、合理的に指導して着実に上達させる教授法を目の当たりにした。ソッシ氏と「日本とヨーロッパとの相違点。どこに気を付けたら効率的に成長するか」も何度も話し合った。現在は演奏会の企画や演奏をするとともに、ソッシ氏から受け継いだ教授法でプロからアマチュアまでの声楽家の方々、そして声楽家を育て支えるコレペティートルを目指す方、伴奏の専門家を目指す方の役立ちたいと考えている。Tomiko Sossi氏のリサイタル、ウィーン国立歌劇場、ミュンヘン歌劇場、ミラノ・スカラ座等のソリストの来日コンサートや公開レッスンで伴奏。1996年～1998年「Japan Tune」のウィーン公演では企画から参加し、編曲、出演。Tokyo Play Opera Masterclass in Europeに参加。国内及びイタリア、スペイン、スロヴェニアでオペラ公演、演奏会に出演。現在はオペラ歌手やコレペティートルの育成、オペラ制作、コンサート企画、出演をしている。
<http://noriekagawa.com> <https://operacoach.jimdo.com>

井上雅人 いのうえまさと バリトン


山形県出身。東京藝術大学音楽学部声楽科卒業。同大学院オペラ科修了。

大学院にて故 U.ガルディーニ、GN.ピリウッチ、S.ローチ、G.クリスチャック、H.M.シュナイットの各氏の指導を受ける。二期会オペラ研修所第50期マスタークラスを最優秀賞、川崎静子賞を得て修了。フィンランドのヘルシンキにわたりフィンランド歌曲を学ぶ。

2010年上海万博「第九」バリトンソロを始め、バッハ「ヨハネ受難曲」イエス、ロッシーニ「スターバトマーテル」、モーツァルト「レクイエム」、フォーレ「レクイエム」、三木稔「レクイエム」などのソリストを務める。オペラでは藝大定期公演『フィガロの結婚』フィガロ、『コジ・ファン・トゥッテ』グリエルモで出演後、東京室内歌劇場公演『コジ・ファン・トゥッテ』（故 若杉弘指揮・東京フィル）グリエルモ役で本格的にデビュー。その後『椿姫』ジェルモン、『マクベス』マクベス、『シモン・ボッカネグラ』シモン、『カヴァレリア・ルスティカーナ』アルフィオ、『夕鶴』惣ど、『じょうるり』阿波抄掾、『遠い帆』徳川家康など多くのオペラに出演。2015年NHK交響楽団『サロメ』（デュトワ指揮）に出演。2017年上海にて上海交響楽団『サロメ』（デュトワ指揮）にも出演。2015年サントリーホール・ブルーローズにてデビュー10周年記念リサイタルを開催。声楽を大類雅子、志鎌綾子、平野忠彦、マリア・ホロパイネンの各氏に師事。二期会会員。

金持亜実 かなじあみ ソプラノ

神奈川県出身。東京藝術大学音楽学部声楽科卒業。同大学院音楽研究科修士課程、及び博士後期課程修了。「ファニー・メンデルスゾーンとクララ・シューマンのリート作品における歌唱表現の提案」のテーマにて博士号（音楽）を取得。現在、同大学音楽文芸教育研究助手。在学中、藝大定期第343回 藝大フィルハーモニア合唱定期演奏会 シューマン『楽園とペリ』（高関健 指揮）、東京藝術大学音楽学部附属音楽高校 第25回定期演奏会 モーツァルト『戴冠式ミサ』（尾高忠明 指揮）にソリストとして出演。また、奏楽堂モーニングコンサートに選抜され、グリーグ『管弦楽つきの6つの歌 EG177』を、ダグラス・ボストック指揮、藝大フィルハーモニアと共演。その他、J.S.バッハ『マタイ受難曲』、ヘンデル『メサイア』、ハイドン『天地創造』、モーツァルト『レクイエム』、ベートーヴェン『第九』等、宗教曲等のソリストとして活動する他、歌曲や、アカペラを含む声楽アンサンブルの演奏も積極的に行っている。第24回友愛ドイツ歌曲コンクール入選。声楽を、辻宥子、三林輝夫、佐々木典子、平松英子の各氏に師事。

sonorium (ソノリウム) 
東京都杉並区和泉3-53-16 sonorium

京王井の頭線 永福町駅下車（北口） 徒歩7分
東京メトロ丸の内分岐線 方南町駅下車 徒歩10分
お車でのご来場はご遠慮いただきますよう
お願いいたします。

